

「モビタ」は二刀流の働くクルマ ～グリスロがつなく地域の福祉、そして観光まちづくり～

応募様式A

陸前高田市グリスロ利活用推進協議会

事業の基礎情報

実施主体	陸前高田しみんエネルギー株式会社
事業実施地域	岩手県陸前高田市
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉 ・ エネルギー・環境 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	①【福祉×交通】陸前高田市地域包括支援センター、災害公営住宅自治会、高田松原商業開発協同組合 ②【観光・まちづくり×交通】高田まちなか会、株式会社醸、（一社）陸前高田市観光物産協会 【全般】復建調査設計株式会社
運行形態	小型低速電動バス（グリーンスローモビリティ）を活用した自家用有償旅客運送
運行主体	一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ

取組の概要

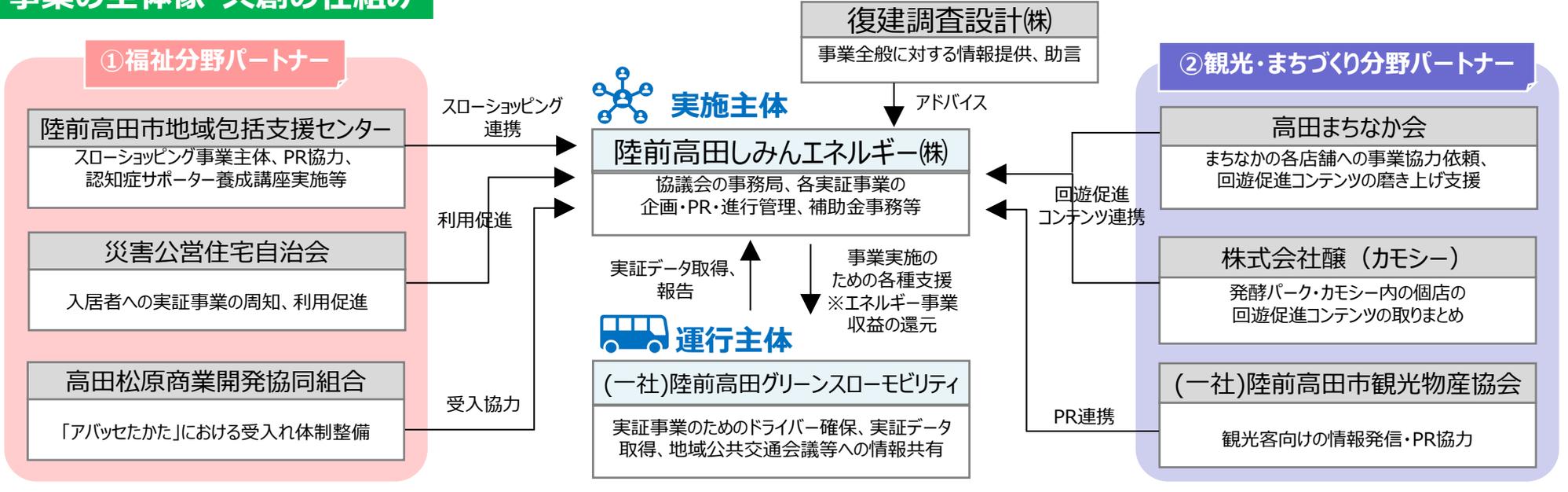
（現状の地域課題と事業目的）

- ①本市の高齢化率は40%を越え、高齢者の日常の足の確保やフレイル予防が課題となっている。そこで、市内を運行するグリーンスローモビリティ（愛称「モビタ」）と、商業施設「アバッセたかた」で実施されている高齢者向け買い物支援事業（スローショッピング）の連携を図り、移動から買い物までをゆっくり楽しめる機会を創出する。
- ②復興祈念公園及び道の駅高田松原のみを目的地とする通過型観光からの脱却が課題となっていることから、道の駅を起点に市街地を巡回するモビタの利用客に回遊を促すための特典付き乗車パスを配布し、滞在時間や観光消費額に関する効果測定を行う。

（事業の概要）

- ①スローショッピングの実施主体である地域包括支援センターと連携し、モビタを活用して買い物前後の移動自体も楽しめる企画・体験を提供する。実証の主な対象は市中心部の主要な災害公営住宅とし、各自治会と連携して入居者の利用促進を図る。
- ②中心市街地の商店主で構成される高田まちなか会や、発酵パーク・カモシーの運営事業者である株式会社醸と連携し、「立ち寄りたくなる特典」が付いた乗車パスを発行する。また、訪問前からモビタ乗車への関心を喚起すべく、主に観光物産協会とPR面で協働する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- ① 陸前高田グリーンスローモビリティが、災害公営住宅と「アバッセたかた」を結ぶ企画バス(例：カラオケバス)を運行し、スローショッピングの新たな利用者の確保につなげる。その際、自治会と連携することで、潜在的支援ニーズを持つ高齢者へのアウトリーチを効果的に行う。高田松原商業開発協同組合は、支援ニーズを持つ高齢者による利用増加を見据え、ハード・ソフト両面の受入れ体制を再整備する。
- ② 高田まちなか会や(株)醸と連携することで、各店舗によるモビタ利用者向けの魅力的な回遊促進コンテンツ作りを促進する。観光物産協会は、HPやSNS、チラシを通じた情報発信に協力し、「旅前」「旅中」でのモビタ観光の周知を図る。

(実証事業により見込まれる効果)

- ① 毎週木曜午後に実施しているスローショッピングの利用者が増加 (R5実績：1.5人/日平均→本事業目標値：5人/日平均)。また、移動・買い物の満足度は80%以上を目指し、リピート利用を促すことで高齢者の外出機会を増やし、フレイル予防に貢献する。
- ② 事業実施期間におけるモビタ休日便の利用者のうち、30%以上が特典付き乗車パスを利用し、一人当たりの追加的な観光消費額が1,000円増加する。これらの検証を通じて、事業を本格実施した場合の回遊促進・経済波及効果を測定することが可能となる。

「モビタ」は二刀流の働くクルマ ～グリスロがつなぐ地域の福祉、そして観光まちづくり～

応募様式A

陸前高田市グリスロ利活用推進協議会

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

実証事業 実施手順		主体者	備考	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
補助金関係 事務	各種手続き	しみんE		▲交付申請等									▲実績報告等
	進捗状況の定期報告	しみんE											
①スロー ショッピング 連携	協議会開催	しみんE、各構成員											
	利用者向け案内	しみんE、自治会											
	認知症サポーター養成講座	包括支援C	(対象)ドライバー、店舗										
	施設側受入れ体制の整備	高田松原											
	企画バスの実証運行	グリスロ											
	スローショッピング利用促進	包括支援C、グリスロ											
	アンケート集計・分析	しみんE、復建											
	報告書作成	しみんE											
協議会開催・事業報告会	しみんE、各構成員												
②まちなか 回遊促進連 携	協議会開催	しみんE、各構成員											
	先進事例勉強会	しみんE、まちなか会、醸、復建	焼津市つなモビ事例等										
	店舗向け事業説明会	しみんE、まちなか会、醸											
	参加店舗募集	まちなか会、醸											
	マップ等ツール制作	しみんE											
	広報活動	観光協会、しみんE											
	ドライバー研修	グリスロ、しみんE											
	企画バスの実証運行	グリスロ											
	アンケート集計・分析	しみんE、復建											
	先進地視察	しみんE、まちなか会、醸、復建	静岡県焼津市を想定										
報告書作成	しみんE												
協議会開催・事業報告会	しみんE、各構成員												

(補助事業実施後の予定)

- ①スローショッピングとの連携を目的としたモビタ運行に関する経費については、利用者から運賃（1乗車100円）を徴収するとともに、陸前高田しみんエネルギー(株)の電力小売事業の収益と、行政からの委託事業収入を組み合わせることを検討する。
- ②モビタによる回遊促進や観光消費額拡大の効果を踏まえ、事業に参画する店舗から協賛金を徴収し、特典付きの乗車パスや参加店舗マップ等のPRツール制作費に充てる。その他のモビタ休日便の運行経費については、従来と同様に、運賃収入と陸前高田しみんエネルギー(株)の電力小売事業の収益の一部を還元することによりまかなっていく。更に、陸前高田しみんエネルギーの電力を購入することにより陸前高田を応援することができる関係人口向けの電力メニュー「ふるさと納電」（準備中）を、モビタの利用客にもPRすることで、関係人口の拡大や運賃以外の収入源の確保につなげる。